

TASCAM

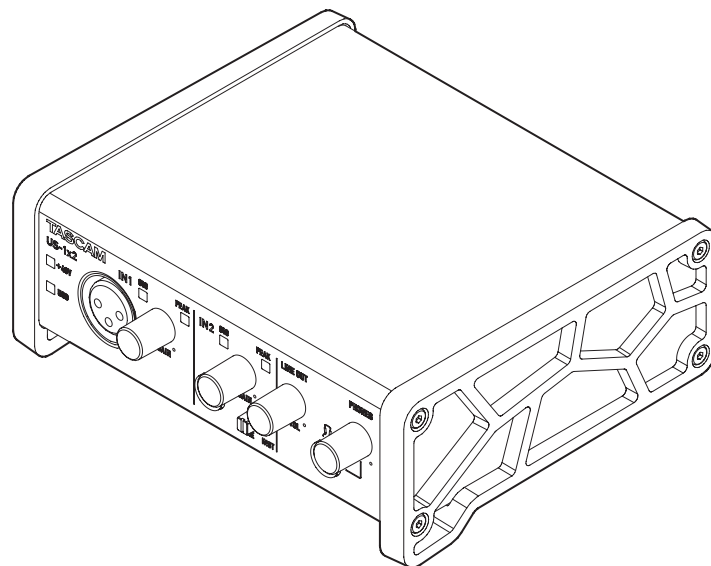
D01321901B

US-1x2

USB Audio Interface



リファレンスマニュアル



本機をパソコンに接続する前に、専用ソフトウェアをパソコンにインストールしておく必要があります。

目次

第1章 はじめに	3	動作条件	23
本機の概要.....	3	Windows.....	23
本書の表記.....	3	Mac.....	23
商標および著作権に関して	3	iOSデバイス	23
第2章 各部の名称と働き	4	対応オーディオドライバー	23
フロントパネル	4	一般.....	23
リアパネル	4	寸法図.....	23
第3章 インストール	5		
必要なシステム	5		
Windows の必要なシステム.....	5		
Mac の必要なシステム	5		
iOS デバイスの必要なシステム	5		
対応するオーディオドライバー	5		
専用ソフトウェアをインストールする.....	5		
Windows 専用ソフトウェアのインストール	5		
Mac 専用ソフトウェアのインストール.....	6		
Gatekeeperについて	7		
専用ソフトウェアのアンインストール.....	8		
Windows 専用ソフトウェアのアンインストール.....	8		
Mac 専用ソフトウェアのアンインストール.....	8		
第4章 準備	9		
電源を接続する	9		
パソコン (Windows / Mac) でご使用の場合	9		
iOS デバイスでご使用の場合	9		
外部機器を接続する	9		
パソコンの接続.....	9		
iOS デバイスとの接続	10		
オーディオの接続.....	10		
ダイレクトモニター機能.....	11		
第5章 Settings Panelの設定	12		
Settings Panelを開く.....	12		
Windows.....	12		
Mac.....	12		
Windows 専用Settings Panelについて	12		
“Home” タブ画面.....	12		
“Settings” タブ画面	13		
“Custom” タブ画面	14		
Mac 専用Settings Panelについて	15		
最新情報のお知らせ機能.....	16		
Settings Panel・ファームウェアの自動更新機能	16		
第6章 アプリケーションガイド	17		
DAWソフトウェア	17		
バンドルDAWソフトウェア	17		
その他のDAWソフトウェア	17		
使用目的とドライバーの組み合わせ (Windowsのみ)	17		
Windows Media Player.....	17		
Mac OS X と iTunes.....	18		
第7章 スタンドアロンモード	19		
概要.....	19		
スタンドアロンモード動作時の各設定	19		
Settings Panel の設定	19		
第8章 トラブルシューティング	20		
第9章 仕様	22		
定格.....	22		
入出力定格	22		
アナログオーディオ入力定格.....	22		
アナログオーディオ出力定格.....	22		
コントロール入出力定格	22		
オーディオ性能.....	22		

本機の概要

- 24ビット／96kHzのオーディオインターフェイスを搭載
- 複数（2入力）のアナログ入力信号（IN1 / IN2）を同時に入力し、USB経由で同時にパソコンへ出力することが可能
- XLRマイク入力（バランス、XLR-3-31相当）およびTRS標準ジャック入力（バランス、（※1）／アンバランス（※2））を装備
- TRS標準ジャック入力は、LINE/INSTスイッチを「INST」（インストゥルメント入力）側に切り換えて、エレキギターやエレキベースなどの接続が可能（IN2のみ対応）
- RCAステレオライン出力およびヘッドホン出力を装備
- ダイレクトモニター機能により遅延がない入力モニターが可能
- USB端子（USB-Bタイプ、USB2.0規格）を装備
付属のUSBケーブルを使ってパソコンまたはApple社製のLightning - USB カメラアダプタを使用して、iOS デバイスを接続

注意

パソコンとUSB接続で使用する場合は、USBバスパワーで動作します。

ただし、iOSデバイスとUSB接続をする場合は電源が必要になりますので、別途外付けの電源デバイスをご購入ください。

- 生放送／カラオケに便利なSoftware mixer機能（Windows専用）
- DAWソフトウェアをバンドル

- ※1：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（LINE/INSTスイッチを「LINE」に設定時）
- ※2：6.3mm（1/4"）TS標準ジャック
（LINE/INSTスイッチを「INST」に設定時）

パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

ソフトウェアのインストールについては、5ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機のボタン／端子などを「PHONESつまみ」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を“OK”のように“ ”で括弧で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、[ヒント]、[メモ]、[注意]として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

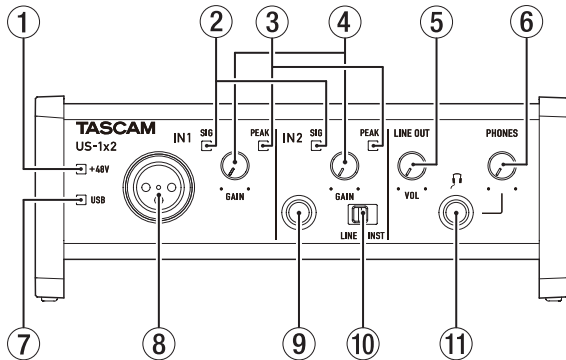
- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、Mac OS、macOS、iPad、iPod touch、Lightning、App Store および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- IOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。



- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

第2章 各部の名称と働き

フロントパネル



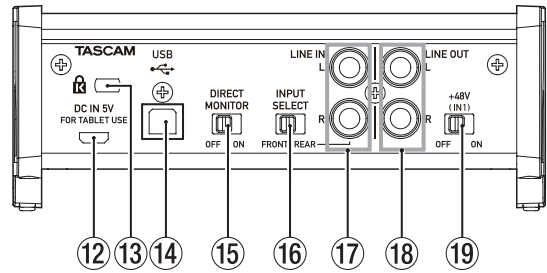
- ① **ファントム電源インジケーター**
リアパネルのファントム電源スイッチ (19) が「ON」のときにインジケーターが点灯します。
- ② **SIGインジケーター**
SIGインジケーターは、IN1 / IN2 / LINE IN L-R端子 (8 / 9 / 17) に信号 (-32dBFS以上) が入力されている際、緑色に点灯します。
- ③ **PEAKインジケーター**
PEAKインジケーターは、IN1 / IN2 / LINE IN L-R端子 (8 / 9 / 17) の信号 (-1dBFS以上) が歪む直前から赤く点灯します。
- ④ **GAINつまみ**
IN1 / IN2 端子 (8 / 9) からの入力レベルを調節します。
- ⑤ **LINE OUTつまみ**
LINE OUT L-R端子 (10) の出力レベルを調節します。
- ⑥ **PHONESつまみ**
PHONES端子 (11) の出力レベルを調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- ⑦ **USBインジケーター**
USB接続が有効なときに点灯します。
- ⑧ **IN1 端子**
XLRバランスタイプのマイク入力端子です。
- ⑨ **IN2 端子**
TRS標準ジャックによる入力端子です。
TRSジャックは、フロントパネルにある**LINE/INST**スイッチ (10) により、バランスライン入力 (**LINE**時) とアンバランス入力 (**INST**時) の切り換えが可能です。
- ⑩ **LINE/INSTスイッチ**
IN2 端子 (9) の入力ソースに応じて設定します。
電子楽器やオーディオ機器を接続する場合は「**LINE**」に、エレキギターやエレキベースなど出力インピーダンスの高い機器を接続する場合は「**INST** (インストゥルメント入力)」にします。
- ⑪ **PHONES端子**
ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ホンジャックです。リアパネルの**LINE OUT L-R**端子 (18) と同じ信号が出力されます。
ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

リアパネル



- ⑫ **DC IN 5V端子 (Micro USBタイプ)**
iOSデバイスなど本機に電源が供給できない機器と接続する場合、USB電源アダプターやモバイルバッテリーなどの電源デバイスを使用して、本機に電源を供給する必要があります。詳しくは、9ページ「iOSデバイスでご使用の場合」をご参照ください。
- ⑬ **ケンジントロック装着穴**
- ⑭ **USB端子 (USB-Bタイプ)**
付属のUSBケーブルを使ってパソコンまたはiOSデバイスと接続します。(USB2.0に対応)
- ⑮ **DIRECT MONITORスイッチ**
入力ソースを遅延なくモニターしたい場合は、「ON」側にしてください。
「ON」に設定した場合、後述のSettings Panel(アプリケーション)にて入力ソースのボリューム (Low / Mid / High) を設定できるようになります。詳しくは、11ページ「ダイレクトモニター機能」をご参照ください。
- ⑯ **INPUT SELECTスイッチ**
入力ソースに応じて設定します。
フロントパネルのIN1 / IN2 端子 (8 / 9) に接続する場合は「**FRONT**」側に、リアパネルの**LINE IN L-R**端子 (17) に接続する場合は「**REAR**」側にします。
- ⑰ **LINE IN L-R端子**
RCAピンジャックタイプのアナログライン入力です。
- ⑱ **LINE OUT L-R端子**
RCAピンジャックタイプのアナログライン出力です。
- ⑲ **ファントム電源スイッチ**
IN1 端子 (8) に+48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。

必要なシステム

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にて、ご確認ください。

Windows の必要なシステム

対応OS

Windows 10 32 ビット
Windows 10 64 ビット
Windows 8.1 32 ビット
Windows 8.1 64 ビット
Windows 7 32 ビット SP1 以上
Windows 7 64 ビット SP1 以上
(Windows 8、Windows Vista および Windows XP はサポート外)

対応パソコン

USB 2.0 を装備した Windows 対応パソコン

CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上 (x86)

メモリー

2GB以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac の必要なシステム

対応OS

macOS High Sierra (10.13 以降)
macOS Sierra (10.12 以降)
OS X El Capitan (10.11 以降)

対応パソコン

USB2.0 を装備した Mac

CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

メモリー

2GB以上

iOS デバイスの必要なシステム

対応OS

iOS7 以降のアップル製 iOSデバイス

対応するオーディオドライバー

Windows : ASIO2.0、WDM
Mac : Core Audio
iOSデバイス : Core Audio for iPhone

専用ソフトウェアをインストールする

本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

専用ソフトウェアはTASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の専用ソフトウェアをダウンロードしてください。

- Windows パソコンは、専用ソフトウェアをインストールすると Windows 専用のドライバー、および Windows 専用の Settings Panel (アプリケーション) がインストールされます。
- Macの場合は、専用ソフトウェアをインストールするとMac専用のSettings Panel (アプリケーション) のみをインストールします。ドライバーは、OS 標準ドライバーを使用します。
- iOSデバイスの場合は、iOS標準のドライバーを使用しますので、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。

注意

ソフトウェアのインストール時には、他のアプリケーションを終了してからインストールを開始してください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール

以下の Windows 専用ソフトウェアのインストール手順にしたがってインストールしてください。

注意

- パソコンと本機をUSBケーブルで、接続する前に Windows 専用ソフトウェアのインストールを完了してください。
- パソコンに Windows 専用ソフトウェアをインストールする前に本機をUSBケーブルで接続し、パソコンに“**新しいハードウェアの検出ウィザード**”が起動してしまっている場合は、そのウィザードを終了させ、USBケーブルを抜いてください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール手順

1. TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOS に適した最新の Windows 用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存した Windows 専用ソフトウェア (zipファイル) をデスクトップなどに解凍してください。
3. 解凍して生成されるフォルダー内にある“**TASCAM_US-1x2_Installer_x.xx.exe**”をダブルクリックすると、自動的にインストールソフトウェアが起動します。

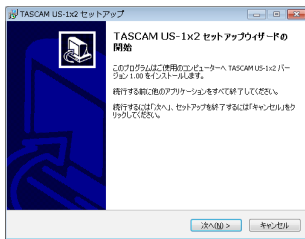
注意

zipファイルを解凍せずに、ダブルクリックして開かれたフォルダーでexeファイルをダブルクリックした場合には、インストーラーは起動できません。zipファイルを右クリックして表示されるメニューから“**すべて展開...**”を選択するなどして解凍してから再度実行してください。

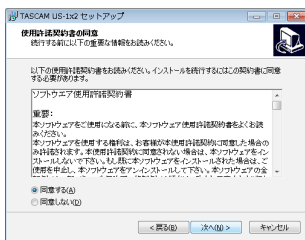
4. “**セキュリティの警告**”または“**ユーザー アカウント制御**”の画面が表示されますので、“**はい (Y)**” ボタンをクリックします。

第3章 インストール

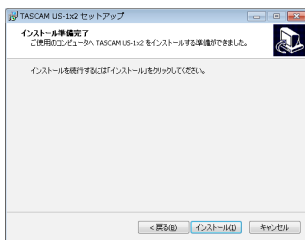
5. “セットアップウィザード”の画面が表示されたら、“次へ (N)” ボタンをクリックします。



6. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、内容に同意ができたなら、“同意する (A)” を選択します。次に“次へ (N)” ボタンをクリックします。



7. 次に“インストール (I)” ボタンをクリックします。



8. インストールが開始されます。



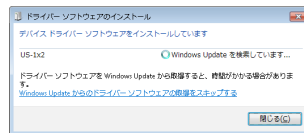
9. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。“完了 (F)” ボタンをクリックします。



インストーラーが終了し、Windows 専用の Settings Panel が起動します。

メモ

ソフトウェアをインストール後に初めて本機をUSB接続すると、デバイスドライバーのインストールが実行されます。このとき Windows は、自動的に Windows Update を検索するため、本機の接続が認識されるまでに時間がかかる場合があります。しばらくしても本機が認識されない場合、パソコンのディスプレイ右下の通知領域から、ソフトウェアのインストール画面を表示させ、“Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする”をクリックして、検索を終了させてください。



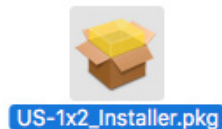
Mac 専用ソフトウェアのインストール

メモ

- パソコンにUSBケーブルで接続する前にMac専用ソフトウェアをインストールしてください。
- Gatekeeperの設定により、インストール中に警告画面が出ることがあります。Gatekeeperについては、7ページ「Gatekeeperについて」をご参照ください。

Mac 専用ソフトウェアのインストール手順

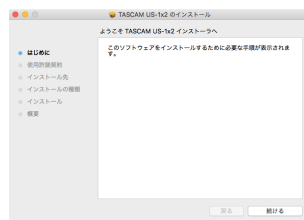
- TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の専用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
- 保存したMac 専用ソフトウェアのディスクイメージファイル “TASCAM_US-1x2_Installer_x.xx.dmg” ファイルをダブルクリックし、開いたフォルダー内の “US-1x2_Installer.pkg” をダブルクリックします。



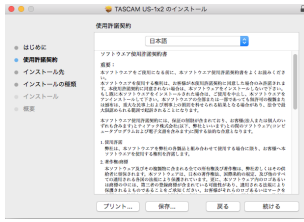
メモ

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

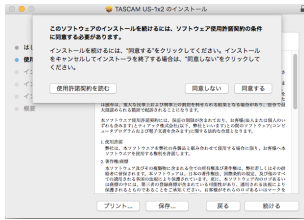
- インストーラーが起動しますので、“続ける” ボタンをクリックします。



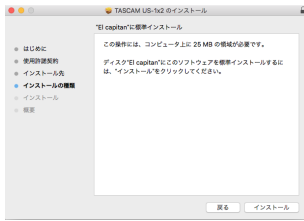
4. 次に希望の言語を選択し、“続ける” ボタンをクリックします。



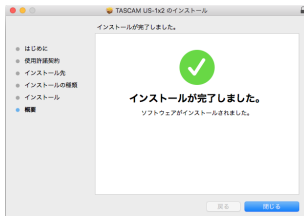
5. “使用許諾契約を読む” ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができれば、“同意する” を選択します。



6. 次に“インストール” ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



7. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。“閉じる” ボタンをクリックします。



Gatekeeperについて

Mac OS Xをお使いの場合、セキュリティ機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。

表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

Gatekeeperの設定を“Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可”にしている場合

“US-1x2_Installer.pkg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。”というセキュリティの警告画面が表示されることがあります。



その場合には“OK” ボタンをクリックして警告画面を閉じた後、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから“開く”をクリックしてください。

“US-1x2_Installer.pkg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか？”という警告画面が表示されますので、“開く” ボタンをクリックしてください。



このとき、次のGatekeeperの設定を“Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可”以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

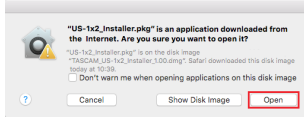
“US-1x2_Installer.pkg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。”というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーから、デスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を“Mac App Storeと確認済みの開発からのアプリケーションを許可”に変更してから再度実行してください。


Gatekeeperの設定を“Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可”以外にしている場合

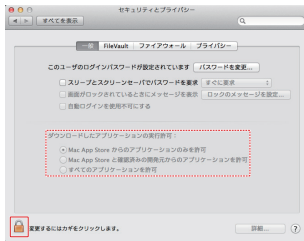
“US-1x2_Installer.pkg”は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか？”というセキュリティーの警告画面が表示されることがありますが、その場合には“開く”ボタンをクリックしてください。




Gatekeeperの設定を変えるには

Gatekeeperの設定は、システム環境設定の“セキュリティとプライバシー”から“一般”タブの“ダウンロードしたアプリケーションの実行許可：”項目で変更できます。

変更するには左下の“”アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



“”ボタンもしくはcommand + Qなどでシステム環境設定を終了する、または“すべてを表示”をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティーにリスクが生じる場合があります。

Gatekeeperの設定を変更してセキュリティーを下げた（下にある項目に変更した）ときは、本ソフトウェアやファームウェアアップデートの終了後（ソフトウェアをインストール直後にファームウェアアップデートを行う場合はファームウェアアップデート後）に設定を元に戻してください。

専用ソフトウェアのアンインストール

メモ


通常は専用ソフトウェアのアンインストール作業は、必要ありません。問題が発生した場合や本機の使用をお止めになる場合に、以下の手順をご参照ください。

Windows 専用ソフトウェアのアンインストール

“プログラムと機能”からアンインストールします。

1. “スタート” → “コントロールパネル”で、“プログラムと機能”を実行します。

メモ

- Windows 10 では、スタートボタンを右クリックして表示される“コントロールパネル”をクリックします。
 - Windows 8.1 では、スタート画面左下のボタンをクリックして表示されるアプリ画面で“コントロールパネル”をクリックします。
2. “表示方法：”項目が“カテゴリー”の場合は、“プログラム”項目の中の“プログラムのアンインストール”をクリックします。“表示方法：”項目が“大きいアイコン (L)”または“小さいアイコン (S)”の場合は、“プログラムと機能”を実行します。
 3. 一覧の中から“TASCAM US-1x2 バージョン x.xx”を選択し、ダブルクリックします。
 4. 以降は、スクリーンの指示にしたがってください。

Mac 専用ソフトウェアのアンインストール

“US-1x2_SettingsPanel”をアプリケーションフォルダー内から削除すれば、アンインストールは完了です。

電源を接続する

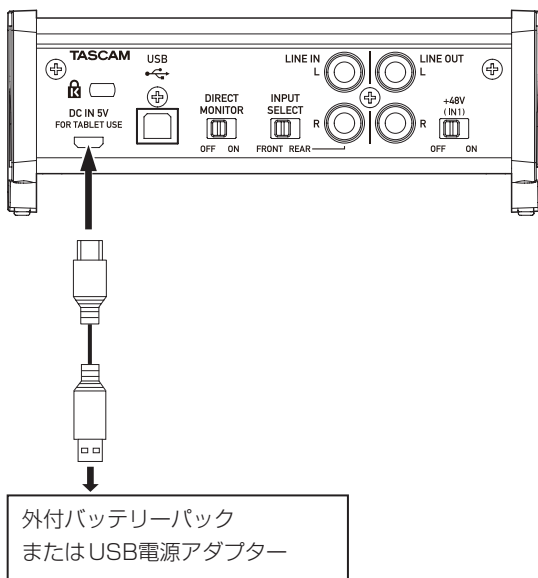
パソコン (Windows / Mac) でご使用の場合

本機をパソコンに接続して使用する場合、USBバスパワーで起動しますので、他の電源デバイスを接続する必要はありません。

iOSデバイスでご使用の場合

本機をiOSデバイスに接続して使用する場合、本機に電源を供給するため、外付けバッテリーパックやUSB電源アダプターなどの電源デバイスを接続する必要があります。

別売のACアダプター PS-P520E、外付けバッテリーパック BP-6AAまたはApple純正のiPad / iPhoneに付属のUSB電源アダプターを、別売のUSBケーブルと接続して、**DC IN 5V**端子に接続します。



注意

- iPod touchにはUSB電源アダプターが付属されていません。iPod touch でご使用の場合は、別途Apple純正のUSB電源アダプター（電圧5V、電流が700mA以上供給可能なもの）をご購入ください。
- 他の外付けバッテリーパックやUSB電源アダプターでも動作可能ですが、別売のACアダプター PS-P520E、外付けバッテリーパック BP-6AAまたはApple純正のiPad / iPhoneに付属のUSB電源アダプターをご使用になることを強く推奨します。他の外付けバッテリーパックやUSB電源アダプターをご使用になる場合は、下記の仕様の電源デバイスをご使用ください。

- 供給電圧：5V
- 供給電流：700mA以上

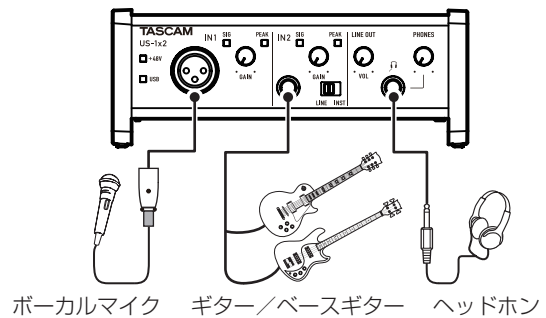
上記の仕様以外で電源デバイスを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。異常がある場合は、使用を中止して、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。

外部機器を接続する

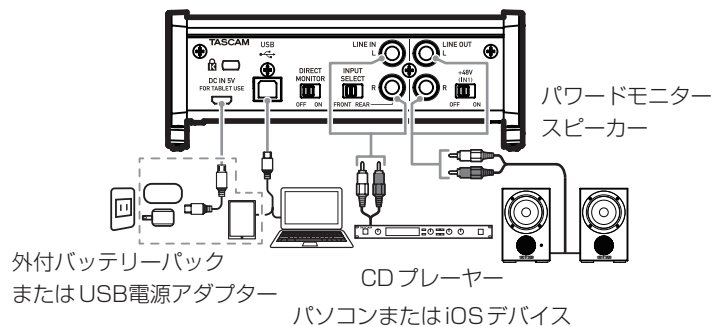
以下に、接続例を示します。

接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の交流電源は、なるべく同一上の電源ラインから供給するように設置してください。テーブルタップなどをご使用になる場合、交流電源の電圧変動が少なくなるように、電流容量が大きいテーブルタップをご使用ください。



[接続例 (フロント)]



[接続例 (リア)]

- * iOSデバイスを使用する場合、外付けバッテリーパックやUSB電源アダプターなどを接続し、電源を確保する必要があります。

パソコンの接続

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンのUSB3.0 / USB2.0ポートに接続してください。USBの接続が有効になると、フロントパネルの**USB**インジケータが点灯します。

注意

USBハブなどで本機を接続した場合、そのUSBバス上のUSB機器の影響でオーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどが発生することがあります。そのため本機の接続は、別のUSBポートに接続することを強くお勧めします。ただし、USBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

iOSデバイスとの接続

iOSデバイスとの接続には、Lightning-USBカメラアダプタと本機付属のUSBケーブルが必要です。

オーディオの接続

マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器など、本機に入力されたアナログ音声信号は、デジタル信号に変換された後にUSBを経由してパソコンに送られます。また、スピーカー（アンプ経由）やヘッドホンを本機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。

注意

オーディオ機器を接続する場合には、**GAIN**つまみ、**LINE OUT**つまみ、および**PHONES**つまみを下げた状態で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

マイク

ダイナミックマイク

フロントパネルの**IN1**端子に接続します。

コンデンサーマイク

ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は**IN1**端子に接続し、**+48V**スイッチを「**ON**」に設定してください。

+48Vスイッチを「**ON**」に設定されているときは、フロントパネルの**+48V**インジケーターが点灯します。

注意

- 接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- ファントム電源を必要としないマイクを接続している場合は、ファントム電源をオンにしないでください。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源スイッチをオンにしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源をオンにした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- LINE OUT**つまみと**PHONES**つまみを下げた状態でファントム電源のオン/オフ切り換えを行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご利用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。

ギター

ギターやベースギターを直接本機に接続する場合は、フロントパネルの**IN2**端子に接続し、**LINE/INST**スイッチを「**INST**」に設定します。

電子楽器／オーディオ機器など

電子楽器やオーディオ機器などを接続する場合は、フロントパネルの**IN2**端子またはリアパネルの**LINE IN L-R**端子に接続します。**IN2**端子に接続する場合は、**INPUT SELECT**スイッチを「**FRONT**」に設定し、同時に**LINE/INST**スイッチを「**LINE**」に設定します。**LINE IN L-R**端子に接続する場合は、**INPUT SELECT**スイッチを「**REAR**」に設定します。

アナログレコードプレーヤー

アナログレコードプレーヤーの出力は、直接本機に接続することができません。アナログレコードプレーヤーを本機に接続するには、アナログレコードプレーヤーと本機の間にはフォノイコライザーアンプが必要です（あるいはフォノ入力端子を持つオーディオアンプを介して接続します）。

モニタースピーカー

モニタースピーカー（パワードモニタースピーカーまたはアンプ／スピーカーシステム）は、リアパネルの**LINE OUT**端子に接続します。

スピーカーの音量は、フロントパネルの**LINE OUT**つまみで調整可能です。

ヘッドホン

ヘッドホンは、フロントパネルの**PHONES**端子（ステレオ標準ジャック）に接続します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

ダイレクトモニター機能

本機リアパネルのDIRECT MONITORスイッチを「ON」することにより、遅延がない入力モニターが可能です。この場合、入力端子からの入力信号と、パソコンからの出力信号のモニタリング音量を調節します。

Settings Panelの“Input Volume”項目にてバランスの調節をします。

本機リアパネル設定 (DIRECT MONITORスイッチ)	Settings Panel設定 (Input Volume項目)	モニターバランス割合	
		本機入力	パソコン出力
OFF	----	100	
ON	Low	30	70
	Mid	50	50
	High	70	30
(スタンドアローンモード)	----	100	

この設定は、モニタリング音量を調節するための設定ですので、録音レベルには影響しません。

メモ

この場合、DAWなどの録音ソフトウェアがその入力を出力（モニターオンなど）に設定していないことを確認してください。入力信号にパソコンからの出力信号が加わり、重なって聴こえる現象が発生することがあります。

第5章 Settings Panelの設定

Settings Panelを開く

Settings Panelを使って、本機の各種機能の設定を行うことができます。

Settings Panelを開くには、次の方法があります。

Windows


Windows 10

- Windows のスタートボタンをクリックし、“すべてのアプリ” → “TASCAM” → “US-1x2 Settings Panel” を選択する。

Windows 8.1

- Windows のスタートボタンを右クリックし、“コントロールパネル” を選択して開く。

メモ

スタートボタンを左クリックしてスタート画面を表示させ、さらに  ボタンをクリックして表示された“アプリ”画面において、“TASCAM” → “US-1x2 Settings Panel” をクリックして開くこともできます。

Windows 7

- Windows のスタートボタンをクリックし、“すべてのプログラム” → “TASCAM” → “US-1x2 Settings Panel” を選択する。

Mac

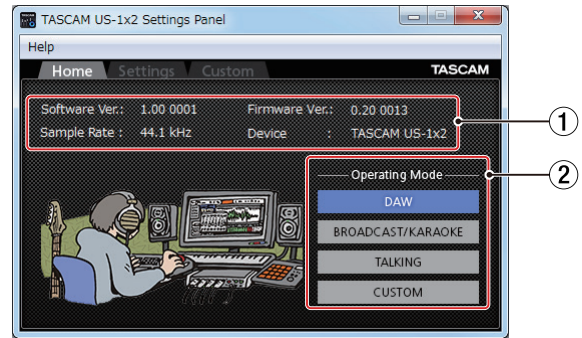
- “Finder” → “アプリケーション” → “US-1x2_SettingsPanel” をクリックして、Settings Panelを開く。
- “オーディオMIDI設定”の“オーディオ装置”ウィンドウで“US-1x2”を選択した状態でcontrolキーを押しながらクリック(右クリック)、または設定ボタンをクリックして表示されるメニューの中から“装置を設定...”をクリックして、Settings Panelを開く。

Windows 専用Settings Panelについて

Windows 専用Settings Panelには、3つのタブ画面があります。Settings Panel上部の各タブをクリックすると、選択されたタブ画面の表示になります。

- Home** : 各種情報の表示、および目的の動作に適したプリセットを選択します。
- Settings** : 本体機能の設定を行います。
- Custom** : ソフトウェアミキサー機能の設定を行います。

“Home” タブ画面



① ステータス（状態）表示部

現在のソフトウェアのステータス（状態）を表示しています。

表示項目	表示内容
Software Ver.	ソフトウェアのバージョンを表示。
Sample Rate	サンプリング周波数を表示します。
Firmware Ver.	接続中の本機のファームウェアバージョンを表示。
Device	接続中の本機の装置名を表示。 (未接続時は、“No Device” と表示されます)

② Operating Mode項目

本機の動作モードを選択します。

選択項目

DAW

DAWソフトウェアを使用する場合、および“BROADCAST/KARAOKE”モードが不要な場合（生放送/カラオケ用途以外）に選択。

BROADCAST/KARAOKE

生放送やカラオケなどを行う場合に選択。
ループバック機能を有効にするプリセットが呼び出され、パソコンから出力された音と本機のIN1 / IN2 / LINE IN L-R端子から入力された音をミックスして再びパソコンに戻すことができます。

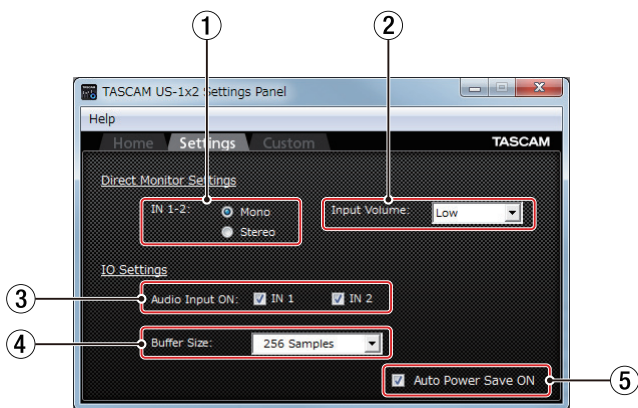
TALKING

通話アプリケーションなどで会話を行う場合に選択。
ループバック機能を無効にするプリセットが呼び出され、パソコンから出力された音（通話相手の声や自分のパソコン内で再生している音楽など）を再びパソコンに戻さないようになります。

CUSTOM

“Custom”タブ画面で設定した動作を行う場合に選択。

“Settings” タブ画面



① Direct Monitor Settings IN 1-2 項目

IN1 / IN2 / LINE IN L-R端子からのモニター信号を“Mono”または“Stereo”に設定します。

- 設定を“Mono”にした場合
パソコンに送られる信号は「ステレオ」のままですが、LINE OUT端子とPHONES端子から出力される信号が「モノラル」になります。
- 設定を“Stereo”にした場合
パソコンに送られる信号は「ステレオ」のままで、LINE OUT端子とPHONES端子から出力される信号も「ステレオ」になります。

② Input Volume項目

本機の入力端子からの入力信号と、パソコンからの出力信号のモニターバランスを調節します。

選択項目

“Low” / “Mid” / “High”

選択項目の詳細については、11 ページ「ダイレクトモニター機能」をご参照ください。

③ Audio Input ON項目

入力のオン/オフを入力ごとに設定します。

- チェックボックスにチェックマーク (✓) を入れると、その入力がオンになり、そのチャンネルに入力された信号を通します。
- チェックボックスのチェックマーク (✓) を外すと、その入力はオフになり、そのチャンネルに入力された信号は通しません。

④ Buffer Size項目 (Windows版のみ)

パソコンとやりとりするオーディオ入出力信号のバッファサイズを調整します。

バッファサイズが小さいほど、オーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。

他のシステム操作を行った場合など処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。

バッファサイズを大きくするほど動作がより安定し、オーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、パソコンとやりとりするオーディオ信号の遅れが大きくなります。

本機ではユーザー環境に合わせて、バッファサイズを調節することができます。

選択項目

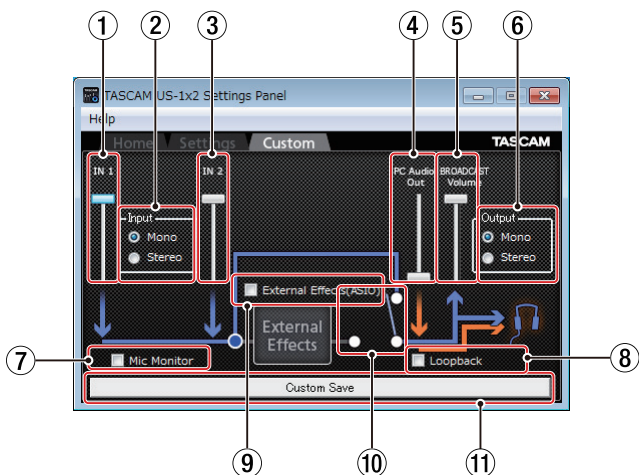
“64” / “128” / “256” / “512” / “1024” / “2048 Samples”

⑤ Auto Power Save ON項目

スタンドアロンモード動作時に、本機に入力信号が検出されない状態 (−60dBFS以下の状態) が30分間経過した場合に、自動的に電源をオフ (スタンバイ状態) にするかを設定します。

- チェックボックスにチェックマーク (✓) を入れると、オートパワーセーブ機能がオンになり自動的に電源をオフ (スタンバイ状態) になります。
- チェックボックスのチェックマーク (✓) を外すと、オートパワーセーブ機能はオフになります。

“Custom” タブ画面



① IN1 スライドボリューム

本機のIN1 端子からの入力音量を調節します。

② Input 項目

入力信号を“Mono”／“Stereo”どちらで扱うかを設定します。

選択項目

Mono

マイク1本（IN1 端子に接続）での使用の場合でも、内部処理にて“IN1”／“IN2”からの入力として扱います。“IN1”の音声ヘッドホンの左右のチャンネルから聴こえます。生放送などでマイクを使用する場合、通常はこちらを選択してください。

Stereo

マイク1本（IN1 端子に接続）での使用の場合でも、内部処理にて“IN1”／“IN2”からの入力として扱いません。“IN1”からの入力としてのみ扱います。“IN1”の音声ヘッドホンの左チャンネルから、“IN2”の音声ヘッドホンの右チャンネルから聴こえます。生放送やカラオケ用途において、キーボードなど元々ステレオの音声を入力する場合にこちらを選択してください。

メモ

“Mono”設定にしてもDAWモード選択時には、自動的に“Stereo”に切り換わります。

③ IN2 スライドボリューム

本機のIN2 端子からの入力音量を調節します。

④ PC Audio Outスライドボリューム

Windows Media Player やカラオケアプリで再生している音量を調節します。

⑤ BROADCAST Volumeスライドボリューム

Sound Recorder やカラオケアプリで録音する音量を調節します。また、生放送アプリでは、放送する音量を調節します。

メモ

スライドボリュームをダブルクリックすると初期値に戻ります。

⑥ Output項目

出力信号を“Mono”／“Stereo”どちらで扱うかを設定します。

選択項目

“Mono”

ご使用になるアプリケーションによっては左側の音声しか扱えない場合があります。このようなアプリケーションを使用すると、右側の音を送出または録音できなくなってしまいます。

“Mono”に設定すると、左右の音がミックスされモノラルサウンドをパソコンに送ることができます。

“Stereo”

ご使用になるアプリケーションがステレオに対応している場合に設定します。

“Stereo”に設定すると、ステレオサウンドをパソコンに送ることができます。

メモ

“Mono”に設定した場合、ステレオの入力信号は全てモノラルになります。マイク入力で、②“Input”項目を“Stereo”に選択している場合でも、こちらの設定が優先されます。

⑦ Mic Monitor項目

“Mic Monitor”のチェックボックスにチェックマーク(✓)が入っているとき、マイク音声などの入力は“PC Audio Out”とミックスされパソコンにループバックされます。

“Mic Monitor”のチェックボックスにチェックマーク(✓)を外すと、IN1 およびIN2 から入力したマイク音声などをヘッドホン出力に戻さないようになります。

⑧ Loopback項目

“Loopback”のチェックボックスにチェックマーク(✓)が入っているとき、パソコンからの音がBROADCASTとPHONES端子に出力されます。

“Loopback”のチェックボックスのチェックマーク(✓)を外すと、パソコンからの音がPHONES端子のみ出力されます。

⑨ External Effects (ASIO)項目

本機に入力しているマイクなどに外部エフェクトを使ってエコーなどをかける場合には、“External Effects (ASIO)”のチェックボックスにチェックマーク(✓)を入れます。

注意

放送用ソフトウェアの設定によっては、信号がループしハウリング現象を起こすことがありますのでご注意ください。

メモ

“External Effects (ASIO)”のチェックボックスのチェック(✓)を外していても、DAWモード選択時には自動的にチェックマーク(✓)が入ります。

⑩ External Effectsスイッチ

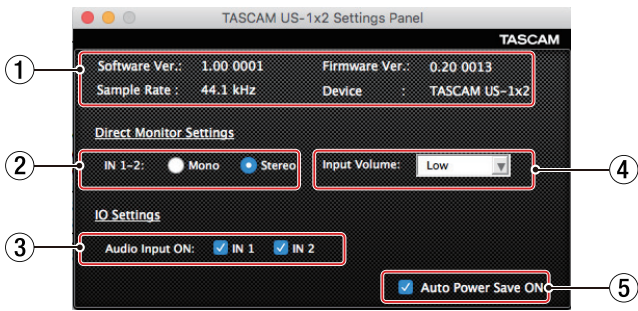
“External Effects (ASIO)”のチェックボックスにチェックマーク(✓)が入っているとき、スイッチが“External Effects”側に設定され点灯します。

⑪ Custom Saveボタン

ボタンをクリックすると、“Custom”タブ画面の設定状態を保存します。

保存された設定は、“Home”タブ画面の“Operating Mode”項目の“Custom”で使用できます。

Mac 専用Settings Panelについて



① ステータス（状態）表示部

現在のソフトウェアのステータス（状態）を表示しています。

表示項目	表示内容
Software Ver.	ソフトウェアのバージョンを表示。
Sample Rate	サンプリング周波数を表示します。
Firmware Ver.	接続中の本機のファームウェアバージョンを表示。
Device	接続中の本機の装置名を表示。 (未接続時は、“No Device” と表示されます)

② Direct Monitor Settings項目

IN1 / IN2 / LINE IN L-R端子からのモニター信号を“Mono”または“Stereo”に設定します。

- 設定を“Mono”にした場合
パソコンに送られる信号は「ステレオ」のままですが、LINE OUT端子とPHONES端子から出力される信号が「モノラル」になります。
- 設定を“Stereo”にした場合
パソコンに送られる信号は「ステレオ」のままで、LINE OUT端子とPHONES端子から出力される信号も「ステレオ」になります。

③ Audio Input ON項目

入力のオン／オフをチャンネルごとに設定します。

- チェックボックスにチェックマーク (✓) を入れると、その入力がオンになり、そのチャンネルに入力された信号を通します。
- チェックボックスのチェックマーク (✓) を外すと、その入力はオフになり、そのチャンネルに入力された信号は通しません。

④ Input Volume項目

本機の入力端子からの入力信号と、パソコンからの出力信号のモニターバランスを調節します。

選択項目

“Low” / “Mid” / “High”

選択項目の詳細については、11 ページ「ダイレクトモニター機能」をご参照ください。

⑤ Auto Power Save ON項目

スタンバイモード動作時に、本機に入力信号が検出されない状態（-60dBFS以下の状態）が30分間経過した場合に、自動的に電源をオフ（スタンバイ状態）にするかを設定します。

- チェックボックスにチェックマーク (✓) を入れると、オートパワーセーブ機能がオンになり、自動的に電源がオフ（スタンバイ状態）になります。
- チェックボックスのチェックマーク (✓) を外すと、オートパワーセーブ機能はオフになります。

最新情報のお知らせ機能

お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、Settings Panel起動時にお知らせが表示されることがあります。

メモ

「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェックすることで、次回から起動時に同じメッセージを表示しないようにできます。

Settings Panel・ファームウェアの自動更新機能

新しいバージョンのSettings Panelおよびファームウェアがリリースされた場合、お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、Settings Panel起動時に自動更新案内が表示されます。



[Settings Panelの更新の場合]



[ファームウェアの更新の場合]

最新のSettings Panel / ファームウェアをご使用になりたい場合、「今すぐアップデートする」ボタンをクリックしてください。ファイルが自動的にダウンロードされ、更新ソフトが起動します。更新したくない場合、あとで更新したい場合は、「あとでアップデートする」ボタンをクリックして更新ウィンドウを閉じてください。

メモ

- 「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェック（✓）することで、次回から起動時に同じウィンドウを表示しないようにできます。
- 更新ウィンドウを閉じたあとでも、メニューバーのHelp→Updateを選択することで再び更新ウィンドウを表示させることができます。

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせて使用する場合の各設定方法をご紹介します。

DAWソフトウェア

バンドルDAWソフトウェア

バンドルしているDAWソフトウェアのダウンロードやインストール、および各種の設定方法に関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、それぞれのクイックスタートガイドをダウンロードして、ご覧ください。

その他のDAWソフトウェア

その他のDAWソフトウェアをご使用の場合は、お手持ちのDAWソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

使用目的とドライバーの組み合わせ (Windowsのみ)

	DAWなどで 選択する ASIO ドライバー	サウンドの 既定デバイス
録音用途を中心にDAWなどを使用する場合 (“Home” 画面 “Operating Mode” 項目 のMODE設定は無視されま す)	US-1x2 ASIO	US-1x2
再生用途を中心にDAWなどを使用する場合 (“Home” 画面 “Operating Mode” 項目 のDAW モード)	US-1x2 ASIO	US-1x2
生放送／カラオケに使用する 場合 (“Home” 画 面 “Operating Mode” 項目のBROADCAST/ KARAOKEモード)	US-1x2 Mixing Driver	Mixing Driver 1 for US-1x2
通話アプリなどで使用する 場合 (“Home” 画面 “Operating Mode” 項目 のTALKモード)	US-1x2 ASIO	US-1x2

* ご使用の環境によってはパフォーマンスが向上することがあります。

メモ

“Mixing Driver 1 for US-1x2” は、メジャーな通話アプリに対応するためのものです。“Mixing Driver 1 for US-1x2” を表示させたくない場合は、右クリックでメニューを開き、“無効化” を選択し、“無効なデバイスの表示” のチェックを外すと表示されなくなります。

Windows Media Player

1. OSのコントロールパネルを開きます。

メモ

コントロールパネルは、下記の方法で開きます。

Windows 10 / Windows 8.1

Windows のスタートボタンを右クリックし、“コントロールパネル” を選択。

Windows 7

Windows のスタートボタンを左クリックし、スタートメニュー上の“コントロールパネル” を選択。

2. コントロールパネル内の“サウンド” をダブルクリックして開きます。

メモ

コントロールパネルの表示方法を“アイコン” に設定すると“サウンド” アイコンが表示されます。

3. “再生” タブ画面の“US-1x2” または“Mixing Driver 1 for US-1x2” を右クリックし、表示されたポップアップメニュー内の“既定のデバイスとして設定” をクリックします。このとき、緑のチェックマーク (✓) が選択したデバイスに移動します。



[Windows 7 の場合の画面]

メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、“再生” タブ画面と同様に“録音” タブ画面でもご使用になるASIOデバイスに応じて既定のデバイスを設定してください。

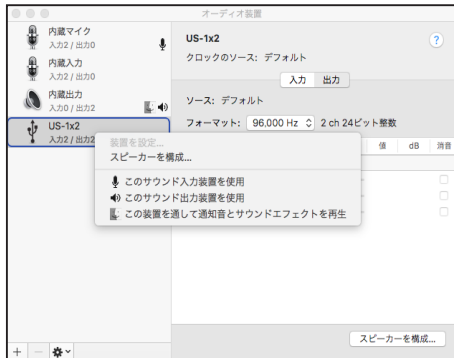
4. 設定が終了したら、“OK” ボタンをクリックします。
5. Windows Media Player を起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Player を起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player 側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Player を再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音が出なくなります。

Mac OS X と iTunes

1. “アプリケーション” フォルダ内の“ユーティリティ”フォルダ内にある“オーディオMIDI設定”をダブルクリックし、“オーディオ装置”画面を開きます。
2. “US-1x2” をクリックして選択し、右クリックまたはcontrolキーを押しながら“US-1x2” をクリックして表示されるポップアップメニュー内の“このサウンド出力装置を使用”をクリックします。
スピーカーのマークが“US-1x2” に移動します。



メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、“US-1x2”を“このサウンド入力装置を使用”に設定します。

3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

概要

- 本機の電源が入っていて、USBケーブルがパソコンとつながっていないとき、本機はスタンドアローンモードと呼ばれるモードで動作します。
- 本機をマイク用プリアンプとして動作させ、入力音をモニタリングすることが可能です。録音をせずに、楽器の練習をするときなどに便利な機能です。
- 外付けの電源デバイスが必要です。詳しくは、9ページ「電源を接続する」をご参照ください。

スタンドアローンモード動作時の各設定

スタンドアローンモード動作時は、入力信号が固定値に設定された内蔵デジタルミキサーおよび出力セレクターを通して、出力端子に出力されます。また、スタンドアローンモード動作時は、USBインジケータが点滅状態になります。

Settings Panel の設定

Settings Panel の以下の設定は、現在の設定状態（最後に設定されていた状態）を保持します。

- “Direct Monitor Settings IN 1-2” 項目
- “Input Volume” 項目*
- “Audio Input ON” 項目
- “Auto Power Save” 項目

* スタンドアローンモード動作時は、“Input Volume” 項目の設定に関係なく入力信号のみのモニターとなります。詳細は、13ページ「“Settings” タブ画面」の「② Input Volume項目」をご参照ください。

第8章 トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。
本章で解決できない場合は、「タスカムカスタマーサポート」まで、下記のご使用環境と、詳しい状況をお知らせいただきますようお願い致します。

ご使用環境

- パソコンメーカー：
- モデル：
- CPU：
- 搭載メモリー：
- OS：
- 使用アプリケーション：
- ウイルス対策ソフト：
- 無線LANの有無：

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

専用ソフトウェアをインストールできない

1. OSの確認
お使いのOSとインストールしようとしているソフトウェアの対応OSが異なっている可能性があります。対応OSを今一度ご確認ください。
2. 常駐ソフトの停止
アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合があります。常駐ソフトを終了し、再度インストールをお試しください。

本機を接続したがパソコンに認識されない

1. 専用ソフトウェアのインストール
 - 専用ソフトウェアをインストールしてください。5ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご参照ください。
2. USBポートの差し替え
 - 本機はUSB1.1では動作しません。USB2.0またはUSB3.0のポートをご使用ください。
 - 本機の接続は、USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。
 - 上記の方法で解決しない場合、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

パソコンでオーディオを再生しても音が出ない

本機をパソコンに接続した状態で下記をご確認ください。なお、以下の設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から音は出なくなります。

[Windows の場合]

本書 17ページ「第6章 アプリケーションガイド」の「Windows Media Player」を参照して各OSに合わせた設定を行ってください。

[Macの場合]

1. 全てのアプリケーションを終了し、アップルメニューより“システム環境設定...”画面を開きます。
2. “サウンド”を開きます。
3. “出力”タブから“US-1x2”を選択します。

設定が完了しましたら、パソコンを再起動し、再生音をご確認ください。また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要がある場合があります。

特にDAWソフトウェアをご使用時には、上記OSの設定とは別のオーディオエンジンで動作していますので、本機の専用ソフトウェアをインストール後、先にDAWソフトウェアのドライバー設定をご確認ください。

お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各マニュアルをご参照ください。

モニタリング時に入力音の遅延が大きい

ダイレクトモニター機能をご使用ください。
詳しくは、11ページ「ダイレクトモニター機能」をご参照ください。

入力音が二重に聞こえる

DAWなどの録音ソフトウェアがその入力を出力（モニターオンなど）に設定していないことを確認してください。
入力端子からの入力信号が、ダイレクトモニターだけでなくパソコンからの出力信号としてモニターされることにより二重に聞こえることがあります。

音切れやノイズが発生する

パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。
パソコンの負荷を軽減させる方法を下記にご紹介致します。

1. 無線LAN やアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。
その場合は無線LANの通信を停止する、またはアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止後して、お試しください。
2. お使いのオーディオアプリケーション、あるいは本機の Settings Panel にてバッファサイズ (レイテンシー) の設定を大きくすることをお試しください。(Windows のみ)

メモ

オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法については、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

3. パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

[Windows の場合]

- パフォーマンスオプション
 - ① ご使用の OS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で **“コントロールパネル”** を開きます。
 - Windows 10 は、Windows のスタートボタンから **“コントロールパネル”** をクリックし、コントロールパネルを開きます。さらに **“システム”** アイコンをクリックします。
 - Windows 8.1 は、通常のスタート画面 (メトロUI画面) で右クリックし、**“すべてのアプリ”** をクリックします。さらに **“コンピュータ”** を右クリックし、**“プロパティ”** を選択します。
 - Windows 7 は、Windows のスタートボタンから **“コンピュータ”** を右クリックし、**“プロパティ”** を選択します。
 - ② **“システムの詳細設定”** をクリックします。
 - ③ **“システムのプロパティ”** 画面の **“詳細設定”** タブで、**“パフォーマンス”** 枠の **“設定...”** をクリックします。
 - ④ **“パフォーマンスオプション”** 画面の **“視覚効果”** タブで、**“パフォーマンスを優先する”** を選択します。
- 電源オプション
 - ① ご使用の OS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で **“コントロールパネル”** を開きます。
 - ② **“ハードウェアとサウンド”** をクリックします。
 - ③ **“電源オプション”** をクリックします。
 - ④ **“電源プランの選択”** で **“高パフォーマンス”** を選択します。

メモ

項目が表示されていない場合は、**“追加のプランを表示”** の下向きの三角ボタンを選択して表示します。

[Mac の場合]

- ① アップルメニューより **“システム環境設定...”** 画面を開き、**“省エネルギー”** を選択します。
- ② **“コンピュータのスリープ”** を **“しない”** に設定します。
- ③ **“ディスプレイのスリープ”** を **“しない”** に設定します。

メモ

Mac OS のバージョン、または Mac によっては、この設定がない場合があります。

バンドル DAW ソフトウェアのお問い合わせについて

バンドル DAW ソフトウェアにつきましては、弊社ではサポート外となります。

ご使用については、バンドル DAW ソフトウェアのヘルプメニューをご参照いただきますようお願い致します。

第9章 仕様

定格

サンプリング周波数

44.1k/48k/88.2k/96k Hz

量子化ビット数

16/24 ビット

入出力定格

アナログオーディオ入力定格

IN 1 入力

MIC入力 (バランス)

コネクタ：XLR-3-31 相当
(1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
入力インピーダンス：2.4k Ω
規定入力レベル：-65dBu (0.0004Vrms)
(GAINつまみMAX時)
規定入力レベル：-8dBu (0.3090Vrms)
(GAINつまみMIN時)
最大入力レベル：+8dBu (1.9467Vrms)
GAIN幅：57dB

IN 2 入力

LINE/INST入力 (バランス/アンバランス)

コネクタ：6.3mm (1/4") TRS 標準ステレオジャック
(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)
GAIN幅：45dB

LINE入力 (バランス)

(LINE/INSTスイッチを「LINE」に設定時)
入力インピーダンス：10k Ω
規定入力レベル：-41dBu (0.0069Vrms)
(GAINつまみMAX時)
規定入力レベル：+4dBu (1.228Vrms)
(GAINつまみMIN時)
最大入力レベル：+20dBu (7.75Vrms)

INST入力 (アンバランス)

(LINE/INSTスイッチを「INST」に設定時)
入力インピーダンス：1M Ω 以上
規定入力レベル：-58dBV (0.0013Vrms)
(GAINつまみMAX時)
規定入力レベル：-13dBV (0.2239Vrms)
(GAINつまみMIN時)
最大入力レベル：+3dBV (1.4125Vrms)

LINE L / R入力 (アンバランス)

コネクタ：RCAピンジャック
入力インピーダンス：10k Ω
最大入力レベル：+6dBV (1.9953Vrms)

アナログオーディオ出力定格

LINE OUT L-R出力 (アンバランス)

コネクタ：RCAピンジャック
出力インピーダンス：100 Ω
規定出力レベル：-10dBV (0.316Vrms)
最大出力レベル：+6dBV (1.995Vrms)

ヘッドホン出力 (PHONES)

コネクタ：6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック
最大出力：18mW+ 18mW以上
(THD+N 0.1% 以下、32 Ω 負荷時)

コントロール入出力定格

USB

コネクタ：USB Bタイプ 4ピン
転送速度：USB 2.0 High Speed (480Mbps)

DC IN 5V

コネクタ：USB Micro Bタイプ

オーディオ性能

マイクアンプEIN (入力換算雑音)

-127dBu 以下 (150 Ω 終端、GAINつまみMAX時)

周波数特性

IN1-IN2 → LINE OUT L-R、ヘッドホン (HP) 出力

44.1kHz、48kHz時
20Hz : +0dB / -0.5dB (JEITA)
20kHz : +0dB / -0.5dB (JEITA)
20kHz : +0dB / -1.0dB (HP出力、JEITA)
88.2kHz、96kHz時
20Hz : +0dB / -0.5dB (JEITA)
40kHz : +0dB / -1.0dB (JEITA)
40kHz : +0dB / -3.0dB (HP出力、JEITA)

S/N 比

100dB以上 (22kHz LPF + A-Weight)
(スタンドアロンモード動作時*のLINE入力 → LINE OUT、
GAINつまみMIN時、JEITA)

歪率

0.006%以下
(スタンドアロンモード動作時*のLINE入力 → LINE OUT、
1kHz サイン波、規定入力レベル、最大出力レベル、JEITA)

クロストーク

95dB以上
(スタンドアロンモード動作時*のLINE入力 → LINE OUT、
1kHz サイン波、JEITA)

* 本機の電源が入っていて、USBケーブルがパソコンとつながっていないとき。

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にて、ご確認ください。

Windows

対応OS

Windows 10 32 ビット
Windows 10 64 ビット
Windows 8.1 32 ビット
Windows 8.1 64 ビット
Windows 7 32 ビット SP1 以上
Windows 7 64 ビット SP1 以上
(Windows 8、Windows Vista および Windows XPはサポート外)

対応パソコン

USB2.0 を装備した Windows 対応パソコン

CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz 以上 (x86)

メモリー

2GB 以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac

対応OS

macOS High Sierra (10.13 以降)
macOS Sierra (10.12 以降)
OS X El Capitan (10.11 以降)

対応パソコン

USB2.0 を装備した Mac

CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz 以上

メモリー

2GB 以上

iOS デバイス

iOS7 以降のアップル製iOSデバイス

対応オーディオドライバー

Windows : ASIO2.0、WDM
Mac : Core Audio
iOS デバイス : Core Audio for iPhone

一般

電源

パソコン時

USBバスパワー

iOSデバイス時

USB電源アダプター (電圧 5V、電流が 700mA以上供給可能なもの) *1

外付けバッテリーパック (電圧 5V、電流が 700mA以上供給可能なもの) *2

*1 USB電源アダプターは、別売のACアダプター PS-P520E またはiPad / iPhone 付属品を強く推奨します。iPod touchには、USB電源アダプターが付属されていません。iPod touchでご使用の場合は、別途Apple 純正のUSB電源アダプター (電圧 5V、電流が 700mA以上供給可能なもの) をご購入ください。

*2 外付けバッテリーパックは、TASCAM BP-6AAを強く推奨します。他の外付けバッテリーパックやモバイルバッテリーをご使用の場合は、電圧 5V、電流が 700mA以上供給可能なものをご購入ください。

消費電力

2.5W

外形寸法

146 x 55 x 120mm (幅 x 高さ x 奥行き)

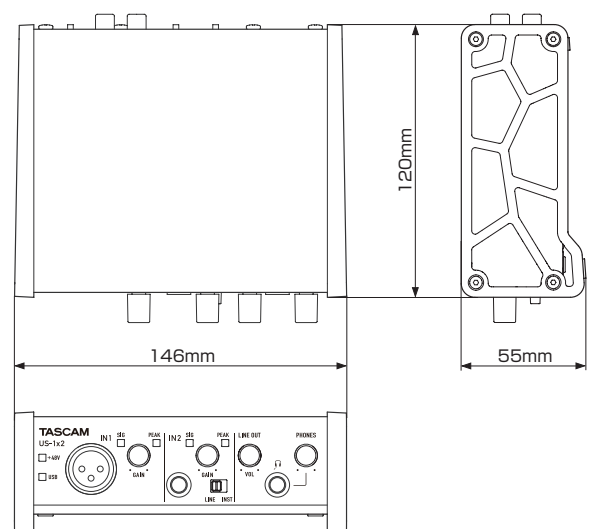
質量

623g

動作温度

5 ~ 35℃

寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスクム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



0570-000-809

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



0570-000-501

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<https://tascam.jp/jp/>